

9月9日は、救急の日です

「救急の日」を含む1週間（9月3日(日)～9日(土)）は、「救急医療週間」です。市では、市民の皆さんに、救急業務に対する正しい理解と認識を深めていただくため普及啓発活動を実施しています。

救急医療および救急業務に対する市民の皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

救急車の適正利用にご協力を

市の平成17年中の救急出場件数は13,436件でした。これは1日あたりに換算すると平均37件の出場となります。

救急車が事故現場に到着するまでには平均5分40秒かかっています。

近年、救急出場件数の増加により救急車の現場到着時間が遅れる傾向

にあります。今後も高齢化、核家族化などにより救急需要が増加し、救急車の現場到着時間がさらに遅れることが予想されます。

増加する救急出場の中には、軽い風邪やかすり傷程度のけが、どこの病院へ行けばよいのか分からないなど、緊急性のない救急車の要請も増え、

本当に救急車を必要とする傷病者への対応に支障を来しています。

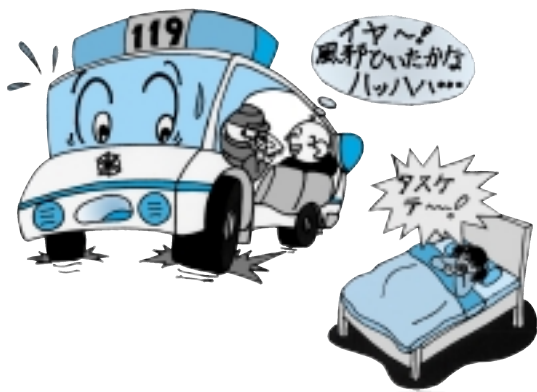
■病院案内をご利用ください

ご自身で医療機関へ行けるような場合は、24時間電話対応による病院案内をご利用ください。

病院案内・24時間受付…☎04-2922-9292

市では、市民の皆さんからの119番通報に迅速に対応すべく救急業務に努めています。傷病者の症状からみて緊急に救急車で病院に搬送しなければならぬ場合には、迷わずに119番通報をしてください。

救急車の適正利用について、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。



応急手当を学びましょう

あなたは、家族を救えますか？
家族は、あなたを救えますか？



市では、上記標語をモットーに市民一人ひとりに正しい応急手当を覚えていただくよう、応急手当普及啓発活動の推進を図っています。

私たちはいつ、どこで突然のけがや病気に遭遇しても不思議ではありません。このようなとき、病院に行くまでに、家庭や職場でできる手当のことを応急手当といいます。

応急手当にはさまざまなものがあります。特に心臓が突然止まってしまった場合、「脳」は約4分で回復不能になると言われています。人を助けるためには、心肺蘇生法（人工呼吸・心臓マッサージ）を行うとともに、必要に応じて電気ショック（除細動）を行うことが大切です。

救急車が到着するまでの約6分の間に、現場に居合わせた人によって応急手当が行われたかどうか、傷病者の命を左右します。さらに、平成16年7月から、一般の人でもAED（自動体外式除細動器）という機械を使ってけいれん状態の心臓に電気ショックを行うことが認められました。AEDの使用法を含めた応急手当の知識や技術を身につけ、いざというときに備えましょう。

市では、普通救命講習会と上級救命講習会を開催しています。個人で受講する場合は「広報ところざわ」などでご案内します。団体（5人以上から）で受講する場合はお近くの消防署へ直接お申し込みください。なお、市ホームページ（アドレスは表紙参照）でもご案内しています。

講習名	講習時間	講習内容
普通救命講習	3時間	成人に対する心肺蘇生法、AEDの使用法、止血法など
上級救命講習	8時間	成人、子ども、赤ちゃんに対する心肺蘇生法、AEDの使用法、止血法、傷病者の管理法など

救急キャンペーン

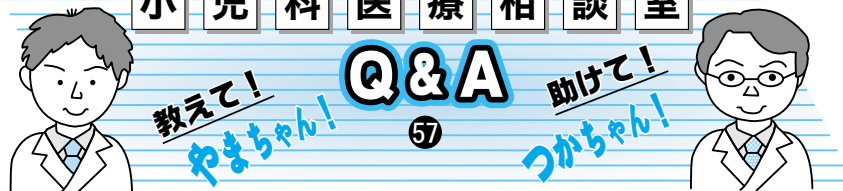
とき 9月9日(土)／午前10時～正午（雨天の場合は中止）

ところ 西友小手指店前

内容 高規格救急車の展示・救急隊による現場活動（電気ショック・心臓マッサージなど）の実演・血圧の測定など

問い合わせ 消防本部救急課（☎2922-5146・FAX2924-5186）

小児科医療相談室



Q：生後29日の赤ちゃんについて相談します。今までは1日5回以上ウンチをしていましたが、生後24日ごろから急に回数が減って1日1回や出ない日もあります。母乳からミルクに替えたいと思い、湯冷ましを飲ませましたが、変わりません。また、ウンチは緑がかっていて粘りがあります。ミルクはよく飲み、オシッコも出ています。癖になりそうで怖いのですが、綿棒で肛門を刺激した方がよいのでしょうか？何か病気が隠れているのではないかと心配です。

A：健康な赤ちゃんのウンチの回数は個人差が大きく、2～3日に1回程度から1日10回程度までさまざまです。栄養方法や月齢にも影響され、お子さんのように一般的にはミルクの方が母乳より少なく、また生後1か月を過ぎるころになると少なくなります。ウンチの回数が多いときや少ないときでも赤ちゃんが①機嫌がよい②ミルクの飲みがよい③お腹が張っていない④ウンチが軟らかい⑤ウンチのとき苦しがない⑥体重が順調に増えているのであれば、病気の心配はほとんどありません。ウンチは黄色のことが多いです。回数が少なかったり、空気を多く飲み込んでいたりすると緑色調になりますが、病的なものではありません。しかし、ウンチが赤や黒、白のときは重篤な病気が隠れていることがあるので要注意です。



お子さんのウンチの回数が減っていても①～⑥の項目が当てはまるのであれば、心配しなくてもいいと思います。ご自宅での対応として、現在している水分補給に加えて、お腹をさすってあげる、マル

ツエキス（麦芽を発酵させた水あめ状のもの）やオリゴ糖、果汁を与えてみることを試してください。

また、お子さんには当てはまりませんが、離乳食が進んでいる子には野菜や果物を加えたり、歩ける子には運動量を増やしたりするのもよい方法です。癖にはなりませんので、2～3日出なければ綿棒で肛門を刺激してあげるのがよいと思います。それでも出ないとき、①～⑥の項目が当てはまらないときやウンチの色がおかしいときには小児科を受診してください。（藤塚）

お子さんに関する相談にお答えします。相談は郵便や下記のアドレスで随時受け付けています。

あて先 〒359-0025・所沢市上安松1224-1

所沢市市民医療センター・小児科相談係

Eメールアドレス yamachan@tokorozawa-iryuu-center.jp

所沢市民憲章（昭和62年3月制定）

所沢市は武蔵野台地の自然に恵まれ
鎌倉街道の拠点として発達し
日本人が初めて大空にはばたいた
記念すべき街である
この歴史と環境の上に立ち
未来に向かってうおいの文化都市をめざす
人は市の誇りである
こころのふれあいを求め友情の輪をひろげよう
恵まれた自然はいのちの泉である
みどりを守りやすらぎの街を創ろう
こどもは市の宝である
胸深く刻まれるふるさとを伝えよう
所沢市は市民のためにある
一人ひとりが自らまちづくりを進めよう

編集後記・野老

▶夏休みに初めて沖繩へ行ってきました。機内では高まる期待でワクワク。ガイドブックで見たとおりの風景が目の前に！青い海、白い砂浜、屋根にちよこんと座る魔よけ獅子「シーサー」、素肌に快い風が駆け抜け、時間がゆっくりと流れていきます。日焼けを気にしながら、そんな風景の中で命の洗濯をしてきました。